

様式第2の2

該当するもの以外を二重取り消し線

揮発性有機化合物排出施設設置(使用、変更)届出書

平成28年11月30日

〇〇保健所長 殿

提出先の保健所長

提出日
(設置、変更：届出後、60日を経過後に設置等可)
(使用：施設となった日から30日以内)

郵便番号(●●●● - ●●●●●)

那覇市泉崎1丁目〇-〇

届出者 株式会社〇〇〇〇

代表取締役 〇〇 〇〇

電話番号(●●●●-●●●●-●●●●●)

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名)

印

大気汚染防止法第17条の5第1項(~~第17条の6第1項、第17条の7第1項~~)の規定により、揮発性有機化合物排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	那覇市〇-〇	※受理年月日	日
揮発性有機化合物排出施設の種類	3 塗装の用に供する乾燥施設(1基)	※施設番号	大気汚染防止法施行令別表1の2に記載されている項番号及び施設名を記入する
揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法	別紙1のとおり。	※審査結果	
揮発性有機化合物の処理の方法	別紙2のとおり。	※備考	

- 備考1 揮発性有機化合物排出施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 5 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。
- 6 排出ガスを処理施設において処理していない場合には、別紙2の届出は必要ない。

別紙1

揮発性有機化合物排出施設の構造及び使用の方法

工場又は事業場における施設番号		NO.1	事業場での施設番号 なければ、通し番号
名称及び型式		乾燥施設(〇〇〇)	
設置年月日		年月日	年月日
着手予定年月日		平成29年2月1日	年月日
使用開始予定年月日		平成29年2月8日	年月日
規模	送風機の送風能力(m ³ /h)	80,000	該当する施設の規模を記入 乾燥施設：送風能力 塗装施設：排風能力 洗浄施設：空気に接する面 の面積 貯蔵タンク：容量
	排風機の排風能力(m ³ /h)		
	揮発性有機化合物が空気に 接する面の面積(m ²)		
	容 量(kl)		
1日の使用時間及び月使用日数等		9時 ~ 18時 4時間/回 2回/日 25日/月	時~ 時 時間/回 回/日 日/月
排出ガス量(Nm ³ /h)		10,000	
使用する主な揮発性有機化合物の種類		トルエン	メーカーから示さ れた数値や算定に より記入。
揮発性有機化合物濃度 (容量比ppm(炭素換算))		50	
参 考 事 項			

- 備考1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の2の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 揮発性有機化合物排出施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。
- 4 排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。
- 5 揮発性有機化合物排出施設が貯蔵タンクである場合には、排出ガス量の欄には記載しないこと。
- 6 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。
- 7 揮発性有機化合物濃度は、揮発性有機化合物の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 8 参考事項の欄には、揮発性有機化合物の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、揮発性有機化合物の排出の抑制のために採っている方法(排出ガスを処理施設において処理しているものを除く。)等を記載すること。

揮発性有機化合物の処理の方法

揮発性有機化合物の処理施設の工場又は事業場における施設番号		1号燃焼装置	事業場での施設番号 なければ、通し番号
処理に係る揮発性有機化合物排出施設の工場又は事業場における施設番号		No. 1	
揮発性有機化合物の処理施設の種類、名称及び型式		燃焼装置 (〇〇)	
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		平成29年 2月 1日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		平成29年 2月 8日	年 月 日
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm ³ /h)		10,000
	揮 発 性 有 機 化 合 物 濃 度 (容量比ppm(炭素換算))	処理前	1,000
		処理後	50
	処 理 効 率 (%)		95%

備考1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 排出ガス量は、湿りガスであつて、最大のものを記載すること。

3 揮発性有機化合物濃度は、湿りガス中の濃度とすること。

4 揮発性有機化合物の処理施設の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

添付書類

様式 2 - 2

- ・ 付近の見取り図及び所在地を示す縮尺 5 万分の 1 の地形図、操業の系統図（乾燥施設等の使用方法がわかる物）
- ・ 事業場内における施設の配置図。
- ・ 揮発性有機化合物排出施設の設置位置がわかる見取り図
- ・ 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

別紙 1

- ・ 揮発性有機化合物排出施設の構造図、操業の系統図（揮発性有機化合物排出施設の使用方法がわかる物）
- ・ 使用する主な揮発性有機化合物の性状がわかる物。
- ・ 揮発性有機化合物濃度の数値の根拠となるデータの写し
- ・ 揮発性有機化合物濃度の計算式

別紙 2

- ・ 揮発性有機化合物処理施設の設置位置がわかる見取り図
- ・ 揮発性有機化合物処理施設の構造図（処理方法、揮発性有機化合物測定口の位置がわかる物）
- ・ 揮発性有機化合物処理施設（煙突を除く）の処理能力が分かる資料（カタログ、計算式等）